

事務事業名	19500 環境衛生事務費	予算科目	会計 環境課 一般 4	款 項 目	4 1 4	担当班	環境政策班
施策体系	基本施策 23 良質な環境の保全 施策の展開 42 きれいなまちづくりの推進 施策の展開 43 自然環境の保全	根拠法令	旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、地球温暖化の推進に関する法律			事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

次ページに記載

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する。行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	I. ごみ処理広域化を目指し旭市・匠瑤市・鏡子市の3市でごみ処理施設の建設を進めている。広域化によりごみ処理経費の縮減や熱エネルギーの有効活用、ダイオキシン類の削減などの効果が図られる。東総広域市町村圏事務組合が事務局として事業を推進しているが課長会議等により事業内容の検討を行っている。各市で費用を負担している。 II. し尿の収集・処理は、東総衛生組合が業務を行っている。関係市町(旭市・匠瑤市・多古町・横芝光町(旧光町区域のみ))が負担金を納めている。 III. 自然豊かな郷土を次世代に引き継ぐため次期「環境基本計画」を策定して環境施策に取り組んでいく。 IV. 平成25年策定「地球温暖化対策実行計画」に基づき平成24年度の温室効果ガス排出量を基準として平成26～30年度までに3.8%削減するための取り組みを行う。旭市総合戦略においては平成26年度の温室効果ガス排出量を基準として平成27～31年度までに3.8%削減を目標としている。	I. 国のダイオキシン対策の方針等を受け、H10に首長会で決定。その後千葉県ごみ処理広域化計画に位置づけられた。II. 東総衛生組合は、昭和35年に設立。現在の施設は、平成27年稼働開始。III. 旭市環境基本計画は、旭市環境基本条例第9条の規定により策定する。IV. 法により地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のための施策を行うこととされている。	・H32まで広域化事業を完了させることで震災復興特別会計の有利な財源を見込める。・平成29年度環境基本計画を策定し、目標とする環境像の実現に向けた施策を展開していく。・地球温暖化対策推進実行計画で旭中央病院は対象となる組織・施設から除外となった。	・し尿の収集について市民から苦情がなく満足していると思われる。・広域ごみ処理については意見が出ていなく身近に捉えていない状況である。・身近な生活環境や廃棄物分別への苦情関心が多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円
1. 負担金(東総広域)	30,257 H27年度施設建設費84,098千円旭市は、約36%負担している。
2. 負担金(衛生組合)	131,429 H27年度 運営費負担金271,730千円のうち旭市の負担額
3. 委託料(基本計画)	0
② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円
1. 国庫支出金	0
2. 都道府県支出金	0
3. 地方債	0
4. その他	0

事業費	1. 負担金(東総広域)	千円	18,661	30,214	30,392	30,257	55,929
	2. 負担金(衛生組合)	千円	75,260	103,832	95,277	131,429	134,926
財源	3. 委託料(基本計画)	千円	0	0	0	0	8,424
	事業費計(A)		千円	93,921	134,046	125,669	161,686
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
4. その他	千円						
5. 一般財源	千円	93,921	134,046	125,669	161,686	199,279	

前年度増減理由	衛生組合負担金の26年度減少理由は25年度受け入れ特別交付税23,754千円を26年度繰り入れたため。衛生組合は、24年度財政調整基金120,330千円繰り入れた。
---------	--

従事職員数 常時 3人 最大 5人 × 11日 = 延べ 55人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

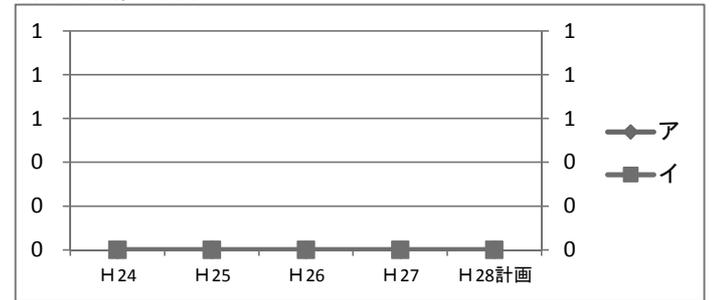
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	④ 目的	⇒	⑤ 指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)

次ページ(3)に記載

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
		⑤	(8)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 内容 ①平成28年度中 ①環境基本計画を策定する ②平成28年4月～ ②環境課全体でごみ減量化推進プロジェクトを立ち上げてごみ減量化に向けた対策を検討し、CO2削減を図る

次ページ(6)に記載

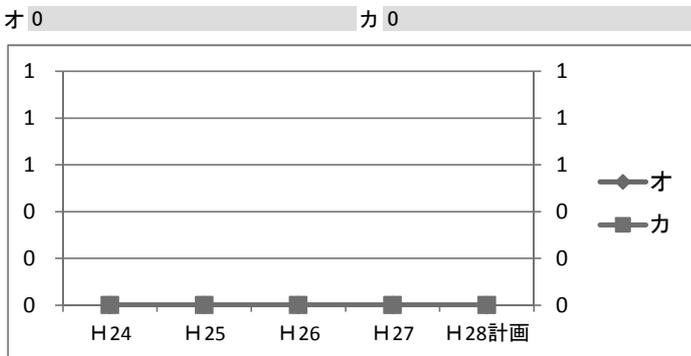
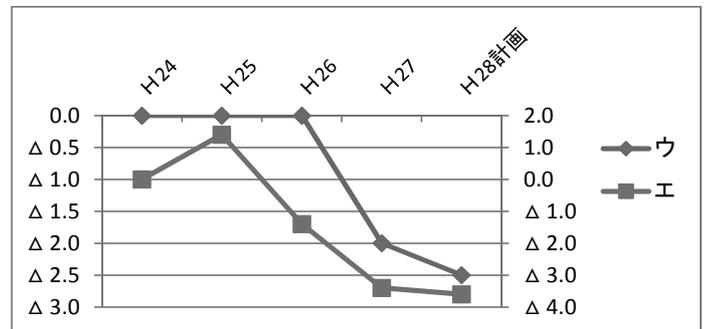
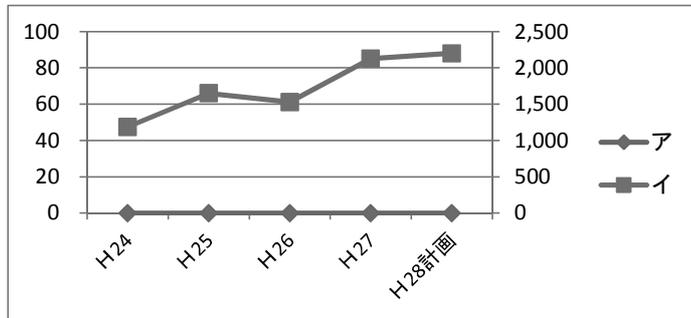
事務事業	19500	環境衛生事務費	戦略	203	ごみ処理広域化の推進	戦略	
			戦略	205	し尿の収集・処理体制の充実	戦略	
			戦略	208	環境基本計画の見直し及び地球温暖化対策実行計画の策定	戦略	

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
手段	27年度実績(27年度に行った主な活動) ①広域ごみ処理施設整備基本計画及び最終処分場基本計画等の策定のため、課長会議等による協議。 ②衛生組合でし尿の収集・処理体制を円滑に推進した。 ③環境基本計画で定めた施策の進捗状況を確認した。 ④温室効果ガス排出量削減のため省エネ等を実施し排出量を集計した。	ア 担当者・課長会議回数	回	7	3	3	8	4
		イ (東総衛生組合の活動)浄化槽人口と非水洗化人口の合計	人	63,497	62,935	62,295	61,750	61,300
		ウ 環境審議会・きれいな旭会議開催回数	回	3	3	3	3	4
		エ 電気使用量 ※中央病院除く	kw/h	11,835,282	12,104,336	11,686,652	11,537,557	11,515,729
		オ “省エネ”消灯を実施している課 ※中央病院除く	課	31	31	31	31	31
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか) 対象意図 市民・事業者 ごみ処理体制の安定及びごみ処理経費の軽減が図られる。 対象意図 市民 し尿・浄化槽汚泥の円滑な収集、適正な処理が推進され、快適に暮らせるようになること。 対象意図 市の施設 平成26年度を基準に、平成27~31年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(旭市総合戦略) 対象意図 市の施設 平成24年度を基準に、平成26~30年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(地球温暖化対策実行計画) 対象意図 対象意図 対象意図	ア 広域ごみ処理施設の用地買収率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		イ 対象者1人当たりの負担金額(負担金額/(汲み取り人口+自家処理人口+浄化槽人口))	円/人	1,185	1,650	1,529	2,128	2,201
		ウ (平成26年度基準)温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	-	-	0.0	△ 2.0	△ 2.5
		エ (平成24年度基準)温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	0.0	1.4	△ 1.4	△ 3.4	△ 3.6
		オ						
カ								

(5) 成果指標の動向

ア 広域ごみ処理施設の用地買収率 イ 対象者1人当たりの負担金額 ウ 温室効果ガス排出量比(平成26年度基準) エ 温室効果ガス排出量比(平成24年度基準)



比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
ア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ	0	465	△ 121	599	73
ウ	-	-	0.0	△ 2.0	△ 0.5
エ	-	1.4	△ 2.8	△ 2.0	△ 0.2
オ		0	0	0	0
カ		0	0	0	0

(6) 事務事業に関する評価

② 成果の状況	成果指標	成果指標のタイプ	数値増=成果向上	評価			低下の場合、その理由
				向上	横ばい	低下	
② 成果の状況	成果指標ア	▲	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	平成28年度に不動産鑑定を実施し、平成29年度買収交渉のうえ用地買収を完了する予定。 クリーンパーク建設資金借入れによる起債の元金償還が平成26年度から始まったことと施設のオーバーホール修繕が始まったため。
	成果指標イ	▼	数値減=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 低下	
	成果指標ウ	▼	数値減=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	
	成果指標エ	▼	数値減=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	
	成果指標オ			<input type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	
	成果指標カ			<input type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	